

令和6年度 第3回柿崎区地域協議会 次第

日 時：令和6年7月16日（火） 午後6時30分
場 所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 自主的な審議

- (1) 柿崎区の課題の把握について 資料 1

5 報告事項

- (1) 新保育園建設候補地に関する意向調査の結果について 資料 2

- (2) 地域自治推進プロジェクトの検討状況及び地域独自の予算事業の経過措置の取扱いについて 6/14 に郵送済

- (3) 明日へつなぐ事業検討委員会の経過について

6 その他

- (1) 会議の開催日程について

① 第4回柿崎区地域協議会

日 時：令和6年8月20日（火） 午後6時30分

会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室

7 閉 会

柿崎区の課題の把握方法（案）

1 前回の地域協議会の協議結果を踏まえた懇談会開催の方向性

(1) 目的

- ・市民の皆さんと柿崎区の現状や課題について意見交換を行い、区の課題を洗い出し、自主的審議事項のテーマを決定する。

(2) 懇談会の対象

- ・前期の参加4団体：NPO 法人柿崎まちづくり振興会
柿崎観光協会
柿崎商工会
柿崎区町内会長連絡協議会
→ 町内会長連絡協議会は以下の3ブロックに分けて実施
①柿崎地区、七ヶ地区
②川西地区
③下黒川地区、黒川黒岩地区
- ・農業関係団体：柿崎区認定農業者協議会 柿崎を食べる会
- ・その他： _____
※例えば、文化・スポーツ関連団体や福祉団体、子ども育成関連団体、ボランティア団体など

(3) 対象者

- ・団体の会長、事務局長等の役職に就いている人ではなく、若者、女性を中心に意見交換を行う。

(4) 実施時期

- ・9月

(5) 実施方法

- ・委員を4人ずつ3班に分けて懇談会を実施する。
- ・開催日時、会場は、事務局が各班の責任者、団体と連絡調整し決定する。
- ・班分け

1班： ◎小出 祥世 坂木 朋子 小関 信夫 佐藤 昌貴
 2班： ◎小山 慶 佐藤まゆみ 金子 豊彦 佐藤 達弥
 3班： ◎蓑輪 和彦 山川 昌恵 石田 一久 滝澤 正芳

◎は各班の責任者

(6) 各班の担当団体

1班： _____
 2班： _____
 3班： _____

(7) 自主的審議事項の決定方法

- ・各班は懇談会での意見交換の結果をまとめ、10月開催の地域協議会で課題を提案し、自主的審議事項のテーマを決定する。

2 今後のスケジュール

- ・7月下旬～8月上旬 団体と日程及び会場の調整
- ・8月20日 懇談会の進め方、資料の検討
- ・8月下旬 案内文書発送
- ・9月上旬 各班の当日の役割分担、意見交換の進め方等を協議
- ・9月中旬～下旬 懇談会開催
- ・9月下旬 意見交換結果をまとめ、課題を事務局へ提出
- ・10月15日 自主的審議事項のテーマを検討、決定する。

3 次回（第4回）地域協議会で協議する内容

- ・各団体との日程調整結果
- ・懇談会の進め方
- ・資料の内容

■ 前回の地域協議会での主な発言内容

(1) 団体との懇談会

- ・前期の懇談会に参加した4団体に限らず幅を広げる。
- ・農業関係団体を加える。

(2) 住民懇談会

- ・住民の意見を聞く懇談会開催は大切である。
- ・住民懇談会の開催は大変。どういう人たちに参加してもらい、どのように議論を深めるかを考えなければならない。

(3) 対象

- ・将来を担う中学生、高校生、若者の意見を聞く必要がある。
- ・久比岐高校で区外から通学している生徒や鉄鋼業関連事業所の若手社員
- ・小・中学生のPTA、保護者
- ・「若人のつどい」の参加者
- ・女性に意見を聞くのであれば、PTAのお母さんの参加を促す。

(4) その他

- ・小学生と「柿崎のいいところ」のマップ作り
- ・SNS活用の研究
- ・各地区町内会の四役と意見交換し、懇談会の参加者を誰にしたらよいかを聞く。
- ・10代から30代の意見を聞くことが難しいと感じている。

新保育園建設候補地に関する意向調査の結果について

◎調査概要

- ・ 調査目的：新保育園の建設候補地として市が最適と考える「柿崎体育館跡地」に対する保護者の意向を確認するもの
- ・ 調査対象：柿崎第一保育園、柿崎第二保育園、上下浜保育園、下黒川保育園の在園児保護者
- ・ 調査期間：令和6年5月31日(金)から6月14日(金)までの15日間

◎調査結果

○新保育園建設候補地に関する意向

意向	4保育園合計		柿崎第一保育園		柿崎第二保育園		上下浜保育園		下黒川保育園	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
賛成する	74	64.3%	34	60.7%	23	65.7%	8	66.7%	9	75.0%
反対する	10	8.7%	7	12.5%	2	5.7%	0	0.0%	1	8.3%
どちらでもない	31	27.0%	15	26.8%	10	28.6%	4	33.3%	2	16.7%
計	115	100.0%	56	100.0%	35	100.0%	12	100.0%	12	100.0%

回答率は4保育園合計で90.6%（柿崎第一94.9%、柿崎第二79.5%、上下浜100.0%、下黒川92.3%）

- 賛成すると回答した割合は4保育園合計で64.3%
（柿崎第一60.7%、柿崎第二65.7%、上下浜66.7%、下黒川75.0%）
- 反対すると回答した割合は4保育園合計で8.7%
（柿崎第一12.5%、柿崎第二5.7%、上下浜0.0%、下黒川8.3%）
- どちらでもないと回答した割合は4保育園合計で27.0%
（柿崎第一26.8%、柿崎第二28.6%、上下浜33.3%、下黒川16.7%）

○それぞれの意向を選択した主な理由

- 【賛成する】安全面や広い駐車場の確保を考慮してもらえらるなら賛成。
国道沿いで交通の便が良く、区内のどこからでも通いやすい立地。
- 【反対する】国道沿いの立地は送迎には便利だが、子どもには危険。
周辺に公園など散歩に適した場所が少ない。
- 【どちらでもない】立地としてはちょうど良いが、国道の交通量が気になる。
新保育園整備後の避難場所の取扱いがどうなるか心配。

※ 本調査による結果を始め、これまで実施してきた保護者との意見交換会における意見等を踏まえつつ、その将来性や安全性等を総合的に考慮した上で、新保育園の建設候補地を最終的に決定いたします。